

令和7年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小論文

人文社会学部 人間社会学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

以下の文章を読み、まず、筆者が人生のありようをどのように考えているのかをまとめなさい。その上で、この文章の内容を踏まえ、人生のありように対する社会のあり方についてあなたの考えを論じなさい。字数は全体で 1000 字以上 1200 字以内とする。

非公開

非公開

非公開

（古田徹也、『いつもの言葉を哲学する』，朝日新聞出版，2021 年，26～31 ページ，抜粋・一部改変）

令和7年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小論文

人文社会学部 人間社会学科

出題の意図

人間社会学科では、人間と社会に関する専門的な知と幅広い学際的な知を基に、誰もが個人の尊厳を保ち、自由・公平、そして安心・安全に生きることができる社会を形成できる人材を養成することを目指している。

この問題の評価対象は、人間社会学科が求めている、思考力、判断力、表現力である。

この問題では、古田徹也氏の『いつもの言葉を哲学する』という著作の一部を用いるが、そこでは、人生のありようを努力だけではなく、運の要素からも捉えている。

この問題では、人生のありようについての筆者の考えをまとめさせ、人生のありように対する社会のあり方について自らの考えを論述させることで、アドミッション・ポリシー（入学選抜の基本方針）に記載されている思考力と判断力と表現力を測る。